

Yellow Cup

2023年1月6日～8日

開催日	1月7日（土）				
チーム名	スコア				チーム名
日本	30	17	前半	17	39
		13	後半	22	
オーストリア					

No.	名前	得点	戦評
1	中村 匠	0	<p>ブンデスリーガのトップクラブであるTHW Kielで活躍中のNikola BilykやPick Szegedに所属しているSebastian Frimmel、過去ブンデスリーガの得点王にも輝いた経歴を持つRobert Weber（Olympiacos）などの豊富なタレントを有するチーム。</p> <p>日本は攻撃は、プレーメーカーに安平、部井久と渡部がバックコート、サイドには髙谷とキャプテンの杉岡。ポストに吉田の布陣。</p> <p>守備は、GKに坂井、成田をセンターDF、部井久をトップDF、2枚目DFに渡部と吉田、1枚目DFに髙谷と杉岡を配置した「5-1 DF」でゲームスタート。</p> <p>試合開始、No.53 Nikola Bilykの個人技で先制点を許す。その後もテクニカルミスからNo.20 Sebastian Frimmelに速攻を決められ2点差。</p> <p>巻き返しを図りたい日本は、安平のリードから部井久がミドルシュートを決める。オーストリア代表は、No.55 Tobias Wagner（Fenix Toulouse）のポストプレーなどで加点していき、対する日本も杉岡のサイドシュートや吉田のポストシュートなどで応酬する。坂井の好セーブもあり同点に追い付く。そのまま引き離したい日本代表は、徳田新之介の速攻で前半20分には13対11と2点のリードを広げる。さらに、杉岡の速攻で15対12の3点リード。オーストリア代表も個人技などで加点して、17対17の同点で前半終了。</p> <p>後半戦スタート、日本代表は前半スタートと同じメンバーで臨む。</p> <p>オーストリア代表は日本の5-1DFに対して、チーム戦術で崩しにかかり、徐々に点差を広げていく。日本代表も安平の個人技や富永のディスタンスシュート、徳田新之介のミドルシュートなどで、後半18分には18対20の2点差まで詰め寄るが、オーストリア代表は7人攻撃を展開するなどして良いリズムを継続させる。30対39で試合終了。</p> <p>日本代表にとっては、良いプレーも多い時間帯もあったゲームだったが、後半の勝負所でのテクニカルミスやディフェンスに課題が散見された試合となった。</p> <p>次戦はYELLOW CUP最終戦のカーボベル代表戦。</p>
2	安平 光佑	3	
6	藤田 龍雅	0	
7	髙谷 大雅	2	
9	杉岡 尚樹	7	
12	岩下 祐太	0	
13	吉田 守一	3	
15	部井久アダム勇樹	5	
17	坂井 幹	0	
18	成田 幸平	0	
19	徳田 新之介	6	
20	渡部 仁	0	
34	藤川 翔大	0	
40	富永 聖也	3	
44	高野 颯太	0	
48	山田 信也	0	
74	笠原 謙哉	0	
99	可児 大輝	1	